

November
2005
No.98

11

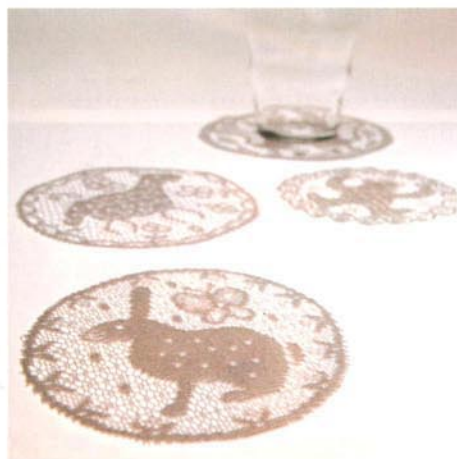
"fu" is a daily life information exchange publication
for women in Fukui "fu" offers an attractive look
into our daily lives. "fu" adds a comfortable touch to
your day to day routine.

fu ふう

クルマでおさんぽ



グルメFUKUI 2005-2006



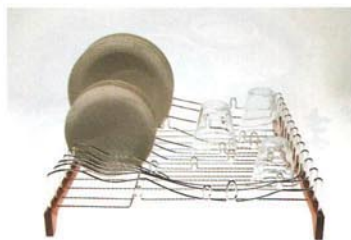
「おいしいキッチン」、 誕生しました

官民のコラボレーションで、 売れるブランドづくり

官と民が力を合わせて、おしゃれなキッチングッズをつくる。そんな福井市の新しい試みが実を結び、キッチンブランド「おいしいキッチン」が誕生しました。今までの発想とは異なる商品開発のいきさつや可能性について、開発に携われた3人に振り返っていただきました。



●ステンレス小物



flask+有限会社山内スプリング製作所
キッチンに風景を取り入れるワイアーグッズ。
水切りラック15,800円

●包丁／まな板



廣田尚子+高村刃物製作所
いまのキッチンに溶け込む、「三徳」に代わる新しい包丁。
4,200円～6,300円

●レース小物



Goma+荒川レース工業株式会社
テーブルクロスじゃない食卓周りのレースたち。
ベジタブルネット700円～1,050円



おいしいキッチン

www.o-kitchen.com

二〇 県内の中小企業は技術はあるが企画・販売・宣伝力が弱い、企業間同士の連携が薄い。1社ではできないことを一つのブランドとして商品化したら、というのがそもそも始まりです。

「おいしいキッチンプロジェクト」は、平成16年から福井市が主催する地域産業創造会議が運営。キッチンテーブル、包丁、まな板、ワイアーグッズ、ベジタブルネットなど5種類のアイテムを県内の異業種企業5社とデザイナー5組が共同製作しました。

二〇 ブランドの発案や製品化、売り方の監修など、二元的な管理を紫牟田さん、そして特にデザインを酒井さんにご協力いただきました。

紫牟田 楽しさの基本は食べること。福井の食材は豊かです。だからキッチンアイテムを開発しようと。色々なアイテムを考えるとところから企業とデザイナー、デザインディレクターが直接やりとりしながら進めました。

酒井 調べてみたら、食の豊かな福井でもキッチンは雑然としていて不満が多いことが分かった。おいしく食事ができる商品を作ろう、という発想がデザインのスタートでしたね。



地域産業創造会議 推進委員長
二〇誠一郎さん



プロデュース&コミュニケーションディレクション
紫牟田伸子さん
県日本デザインセンター プロデュース室
チーフプロデューサー

紫牟田 技術を駆使する、美しいものを作る、などの、福井キッチンプロジェクト10箇条“を作りました。みんなで二つのものを目指そうとするときの心の支えというか目標になりました。

二〇 家具メーカーと包丁製造、レースメーカーと金属加工メーカーなど、今まで交わらなかった業種が互いに情報・技術交換をしたというのも大きな成果ですね。

酒井 実際に企業の工場を見てからアイテムを考えました。現時点での企業の技術や突出した点を生かし、今以上のものができるようにしました。小物を収納できるキッチンテーブル、包丁、立てても倒れないまな板など、今回つくったのは40以上のアイテムです。

紫牟田 県内では福井市の山口伊三郎家具で展示販売しています。小物類は500円台から、家具類は一万円台からと求めやすい価格になっています。

二〇 大きな特徴の一つは、ものづくりの技術に企画、デザインや広報宣伝などを加えたこと。そして販路に乗せて売り出すところまで行政が踏み込んだ点です。

紫牟田 一つのコンセプトを徹底し、それを行政がフォローし見守る。民側が動いている部分で邪魔をせず、各パートの役割をちゃんと果たした。理想的な官民の協力だった

と思います。

酒井 行政側が雑務や面倒なやりとりを引き受けてくれたのでやりやすかったですね。

二〇 継続のためにも商品が売れてほしい。プロジェクト自体の面白さを評価し、大手のデパートや通販、ウェブなどで取り扱いたいという引き合いは多いのですが、売れ続けなければ企業に還元されず、地域産業の継続的な発展に繋がりませんから。

紫牟田 ものづくりは作るだけで満足するのではなく、人に使ってもらって初めて作りの楽しさやうれしさがあります。その上で使い手に「『おいしいキッチン』って福井でやっていたんだ」と知ってもらい、大切なブランドとして広がっていくと嬉しう。福井がやっていると情報発信を続けることが大事です。

酒井 コストなどの問題で作れなかった商品を次々と実現させたい。企業やデザイナーの距離をさらに縮めて、効率よくいいものができればと思います。福井のショップでもぜひ商品を置いてほしい。

二〇 新たな企業の参加、支援、販売網、地域の産業を一体となつて育てていく仕組みをさらに固めていきたいですね。企業間連携がもつと育つと思います。そしてぜひ福井の人に使ってもらいたいです。



デザインディレクション
酒井俊彦さん
街サカイ デザイン アソシエイツ/
インダストリアルデザイナー

書籍

『「おいしいキッチン」、はじめました。』

好評発売中

県内企業とデザイナーたちの「おいしいキッチンプロジェクト」への取り組みを紹介しています。
ラトルズ刊 1,500円(税別)

●キッチン・ダイニング家具



五十嵐久枝十株式会社福地

サクッと収納、すっきりした空間で家事ができる家具。
キッチンテーブル57,000円～82,000円

●リネン／マイクロファイバー



wool.cube.wool!十株式会社ネオテックス

超吸水高機能フキン類&エプロンなのにカワイイ。
ボンボン食器洗い580円

— ごはんをおいしくつくる&食べるための楽しいキッチングッズ —

「おいしいキッチンプロジェクト」展

2005.10.21(金)～

場所： 山口伊三郎家具 福井市大願寺2-8-8 tel.0776.21.0136

開催時間： 10:00 → 19:00 定休：水曜日



デザイナーと中小企業がじっくりつくった「おいしいキッチン」のためのグッズたち

● サクッと収納、すっきりした空間で食事ができる家具／五十嵐久枝＋株式会社福地＝インテリアデザイナー五十嵐久枝と少量多品種の生産技術をもつ福地とが、キッチンでちらかりがちな小物や家電製品をすっきり収納できるというコンセプトに基づいた、どんなキッチンやダイニングにもなじみやすい家具たち。● いまのキッチンに溶け込む、新しい包丁と包丁まわり／廣田尚子＋高村刃物製作所、株式会社福地＝プロダクトデザイナー廣田尚子と越前打刃物の伝統的な手法で切味を追究する高村製作所の現代的なインテリアに合う包丁。そして「なるほど！」なまな板と包丁立て。● キッチンに風景を取り込むワイヤーグッズ／flask＋山内スプリング製作所＝金属棒の自在な加工技術をもつ山内スプリングとデザインユニット「flask」が、新鮮なアイデアのワイヤーグッズをつくりました。● 超吸水高機能フキン類&エプロン、なのにカワイイ／wool.cube.wool!＋株式会社ネオテックス＝かわいくて水気を拭き取りやすい、高機能なタオルや食器洗い。布まわりを楽しくするのが得意なデザインユニットwool.cube.wool!とネオテックスの技術のコラボレーション。● テーブルクロスじゃない、食卓まわりのレースたち／Goma＋荒川レース工業株式会社＝料理まわりのさまざまなデザインをてがけるGomaはレース大好き！ポットカバー、照明、ベジタブルネットに買い物袋と、彼女たち自身も「欲しかった」キッチンのレースまわりができました。

※「おいしいキッチンプロジェクト」は、福井市の地域産業創造会議が運営する、企業横断的なブランドシステムの試みです。

デザインディレクション：酒井俊彦（サカイデザインアソシエイツ）

プロデュース&コミュニケーションディレクション：紫牟田伸子（日本デザインセンター）

グラフィックデザイン：程 斐（日本デザインセンター）

運営：地域産業創造会議（事務局 福井市商工政策課 地域産業創造推進室）

福井県福井市大手3-10-1 tel.0776.20.5147 fax.0776.20.5323

おいしいキッチン

www.o-kitchen.com